



音楽集会 5年生

今日21日(木)は、朝から音楽集会がありました。今回の集会では、5年生が音楽の時間に学習しているリコーダー二重奏による「小さな約束」と合唱「ビリーブ」を披露してくれました。「小さな約束」は、リコーダー二重奏曲に編曲されていて、旋律の重なり的美しさを感じながら演奏する曲です。リコーダーの練習を重ねる中で、二つのパートの特徴を感じ取りながら、グループごとに短調の響きや二つのパートの掛け合い、音の重なりなどを工夫してきました。またグループで、演奏の効果が高まるような工夫について話し合いも重ねてきました。1学期の曲でしたが、それを復習するために各学級で練習もしたそうです。子供の中には「『ソ』シャープの音を出せるように個人的には頑張ってきた」などと今回にかける思いを聞かせてくれました。その成果が今日の演奏の中でもしっかりと伝わってきました。

一方合唱曲の「ビリーブ」は、歌詞の中に「例えば君が傷ついて くじけそうになった時は 必ず僕が傍にいて 支えてあげるよその肩を もしも誰かが君の傍で 泣き出しそうになった時は 黙って腕を取りながら いっしょに歩いてくれるよね」というフレーズが出てきます。「ビリーブ」の歌詞が描く世界に自分たちの日々の暮らしを重ね合わせながら歌声を響かせてくれたらいいなという願いを込めながら、5年生の熱唱を聴いていました。



音楽専科の力田先生によると、「学年練習は直前のリハーサルを含め2回しかできませんでしたが、個人やクラスで練習を重ねてくれたおかげで、本番はきれいに音が揃っていました。歌声も特にサビの部分が盛り上がり、未来への希望を感じさせてくれました。」ということです。



最後に音楽委員会の子供から、曲当てクイズがありました。一度に2曲をピアノで演奏しどの曲か当てるクイズでした。二つの曲を聴き分けるのは難しかったのですが、一生懸命聴いて盛り上がりました。

感想交流では、1年生の子供は「『🍀 帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、クイズが楽しかったからです。」と述べ、3年生の子供は「『🔥 帯西レッド』の心が伸びました。わけは、歌やクイズをよく聴けたからからです。」と述べました。そのお返しとして5年生の子供は「直前までみんなで一生懸命練習して頑張ってきたので、結果を出すことができ嬉しかったです。」と述べていました。

5年生は、今日の日まで練習を積み重ねてきて、それを見事にリコーダーと合唱で披露してくれました。ビリーブの歌詞の中に、「いま未来の扉を開けるととき I believe in future 信じてる」という一節があります。そこからは、次年度の帯西の最高学年としての気構えが伝わってきました。その姿勢がとても嬉しかったです。

また、裏方で集会を支えてくれた音楽委員会の皆さんも、本番ではマイクトラブル等ありましたが冷静に対処し、全校の子供たちが音楽に親しむ時間をつくってくれて、感謝しています。